

【パネルディスカッションテーマ】

テーマ1：本市のまちづくりにおける課題と官民連携の取組

テーマ2：官民連携を進めるにあたっての課題

【主な発言内容】

○（多治見市長）古川 雅典 氏

行政はスピードと正確さをもって対応することが重要。市民が、そのまちに住む幸せ感を得られることが重要であるため、目に見えるものを結果として求めていきたい。民間と公共が近づくことで官民連携が促進される。また、そのような成功事例を蓄積していくことで市民の理解も得られると考える。

○（島田市長）染谷 絹代 氏

高度経済成長期に一斉に整備した公共施設が一斉に老朽化してきており、公共施設マネジメントにおいて官民連携を効果的に活用していくことが必要。官民連携については民間に任せるという認識ではなく、公共と民間が連携するという認識のもとでスピード感を持って取り組むべきである。

○（西尾市長）榊原 康正 氏

合併後、公共施設の再配置が新しいまちづくりにつながるよう取り組んできた。多くの事例を調査・検討した結果、最適な手法として西尾市独自のPFI方式を採用し、現在事業を進めている。参加事業者を愛知県内の企業に限定することで多くの地元事業者が参画でき、地域経済が循環し、地方創生の観点からもよい手法と考えている。

○（桑名市長）伊藤 徳宇 氏

まちづくりアンケートから「中心市街地の活性化」と「行財政改革」が市民の考える重要課題になっていることを踏まえ、エリアの価値を向上させる官民連携の取組が重要。官民連携においては、官民の互いの理解の深化や民間提案に対するインセンティブのあり方、社会変化への柔軟性の確保の点で課題を感じる。



【官民連携（PPP/PFI）事業の推進に向けた首長意見交換会】



【(多治見市長) 古川 雅典 氏】



【(島田市長) 染谷 絹代 氏】



【(西尾市長) 榎原 康正 氏】



【(桑名市長) 伊藤 徳宇 氏】



【(中京大学 常任理事)
奥野 信宏 氏】



【(名古屋大学 未来社会創造機構 教授)
森川 高行 氏】



【(岐阜大学 工学部 教授)
高木 朗義 氏】